

# かいはつ

44号

題字 城南小

4年 山下かすみ



美川・東海ブロック小中交流会

岡崎市現職教育委員会 特殊教育部会

平成13年3月2日発行



## 生徒のセールスポイント

矢作北中学校長

柴田 隆夫

「各企業を回って少しでも多く生徒を採用してもらうために、いつもこんなことを言っているんです。」

・「明るく、元気で、素直な生徒だから」お願いします。

・「一生懸命仕事をするから」「元気にあいさつができるから」

「地元の子だから」お願いします。

これは二月十四日に行われた中学校特殊学級事業所見学会の折、保護者・特殊学級担任を対象とする講演会で、講師の安城養護学校高等部主事の三宅博先生からお聞きした言葉である。

さらに、そのお話の中で、企業側からの要望には、

・最低限のマナー（あいさつ、身だしなみなど）を身につけてほしい。

・だれの指示でも素直に聞けるようにしてほしい。

などがあると言われた。

いろいろある中でも、やはり「あいさつの大切さ」を痛感した。企業に限らず、学校、家庭、地域、どこでも、いつでも、明るい笑顔で気持ちよいあいさつのできる人が必要とされているのである。

「あいさつは、小さな言葉だけれど、人と人が心を通わせる大切な瞬間なんだ」と聞いたことがあるが、そのとおりだと思う。

子供たちの周りにいる大人、教師や親があいさつの輪を作り、広げたものである。目を見てあいさつし合っていれば、心も通い合い、笑顔が生まれる。明るい声で自然にあいさつができるようになりたい。

### 特殊学級進路指導委員会

## 事業所見学会

### 講演・交流・職場見学

二月十四日、中学校特殊学級進路指導委員会主催の「事業所見学会」が生徒・保護者・教師百五十名の参加のもとで行われました。午前中、保護者は講演会、生徒は交流会に参加しました。

講演は愛知県立安城養護学校高等部主事の三宅博先生に「自立と職業生活」と題してお話しいたされました。高等部の教育課程や作業内容について、また厳しい就職の現状についてお聞きすることができました。社会自立することの難しさを改めて感じました。

生徒たちは交流会で、学級紹介やゲームをして楽しみました。三年生からは卒業後の進路の発表があり、自分の進路を考えるよい機会になりました。

午後の事業所見学会では、事業所を十三か所に広げ、学校単位で見学を行いました。自分たちの先輩が働いている姿を見て、働くことを身近に感じた生徒も多くいたと思います。

### 保護者の声

講演会を聞いて

内藤 啓子

三宅先生の「自立をめざして」のお話を聞いて、もうそんな時期が来たんだな、と思いました。

家庭生活ではそれほど不自由を感じていないものの、教育課程での学習能力は分かっている、自分の子は何かができるか、何をやらせたらいいか、また何に向いているか分からず悩むことがあります。家庭では、社会で必要なあいさつなどは教えることができても、自立するための学習となると大変です。でも、三宅先生の言われた「元気にあいさつのできる子」を目標に、育てていきたいと思っています。

### 生徒の声

交流会と見学会

美川中 二年 鈴木 瞬

午前中は、交流会をやりました。ぼくたちは、ハンドベルの発表をしました。とても緊張しました。

午後は、ヤマハオートの部品部を見学しました。そこで働いている人は、服装をきちんとして、無言で働いていました。ぼくは、すごいなと思いました。ぼくは、授業中に友達にちよっかいをかけておこられてしまいます。ヤマハオートの部品部の人みたいに作業をしつかりやりたいです。

事業所見学会に行つて

六ツ美中 二年 山北 信之

ぼくたちは、二月十四日に日清紡針崎工場を見学しました。驚いたことは、工場がとても広かったことと、糸をまく機械が止まると速く回っていたことです。見学後、質問をしました。工場での音のなる機械がふしぎだったので聞きました。危険を知らせるためだと教えてもらいました。最後に、一生懸命にがんばること、無断で休まないこと、遅刻をしないことが大切だと教えてくれました。とても勉強になり、よかったです。

## がんばってます14

仕事について

宮石 茉莉佳さん

今、私はフロアー工業につとめています。

朝九時から十二時までのつとめです。仕事は車の部品の組み立てや、箱づめをしています。

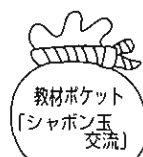
家から会社までは、バスで通っています。お母さんにお弁当を作ってもらい、会社でみんなと一緒に食べる時が、一番楽しいです。

反対にづらいことは、冬の朝が



早く大変なことです。眠たいけど、休むとみんなの迷惑になるので、がんばって仕事に行っています。

自分の働いたお金で、自分の好きな物を買ったり、貯金ができたりするのが、うれしいです。



井田小 内田 純子

四月の授業参観でシャボン玉を作る授業を行いました。大きなシャボン玉を作るにはどうしたらいいのかな。子供たちの疑問が膨らみ、いろいろな挑戦が始まりました。

針金で風船の形を作ると大きなシャボン玉、ひまわりの形にするとちびちびのシャボン玉ができます。A子は二つのストロークで作る目ん玉シャボン玉を考



「シャボン玉のことが、いっぱいいわかったよ。」シャボン玉博士として、学芸会で研究発表をした目ん玉がつぶやきました。くわしくは井田小HPへ

事業所見学会の風景

# 安城養護学校の

## 取り組み

愛知県立安城養護学校長

小島 文仁

本校は、昭和33年、安城市桜井町に開設されました。この地区は三世紀文化を代表する前方後方墳の二子古墳を始め、23基の古墳群があるように歴史の宝庫です。江戸末期より幾多の困難を克服し、安城ヶ原を日本デンマークへと変えた先人の知恵と情熱が、今もなお綿々と思っています。

地元の町内会・老人会や子供会・ボランティアグループなどが、有形無形で本校を支えてくれます。地元小中高との学校間交流だけでなく、生徒が住む市町との結び付きも強まり、高浜市・西尾市・刈谷市・知立市・岡崎市・一色町へと居住地交流が行われ大きな成果を収めているところです。

さて、校内の様子ですが、「緑いっぱい花いっぱい、そして元気いっぱい」を合い言葉に、生徒理解に基づいた適切な支援により社会参加と自立を圖るようになっています。

# そよかぜ相談

教育研究所

生駒 隆章

ます。お互いが相手のよきを見出し認め合おうという姿勢を重視し、児童生徒に対しては目の高さにも注意して働きかけ、更なる理解に努めます。個のよさをどう生かし広げ伸ばしていくかを柱に、個人の指導計画作成をとおして目標や手だてを明確にしながら実践を進めます。その過程で、生活のリズムを安定させたり繰り返しの中で喜びや満足感を十分味わうことにより、子供が自信を抱き意欲を高め主体的な生活をするよう願っています。

期待しての取り組みです。小学部から高等部までの一貫性をも大事にし、座学よりも体験や経験学習に、各教科別領域別指導にも重きをおきます。よりよく遊ぶことが将来の働く力となり、職業自立を可能とする基礎・基本だと思っております。

教育効果をあげるために、家庭と学校との連携は欠かせません。教育方針や内容を保護者に十分説明し、理解と協力を得るよう努めています。

今後は、家庭・学校・地域相互の強い連携が不可欠となるでしょう。



北中 7組 思い出の一枚なかまし3人娘

今年度、新規スタートの我が七組三人娘。家庭の事情から十二月をもって、突然の一人転出。お別れパーティーとなった。  
なんだかんだと騒ぎながらのカレー作りから始まり、フルーツデザート。そして、隣の保健室からの乱入者々と共に、最後は七人の大パーティーとなった。どんなに思い出しい給食カレーよりもこの日はかりはめっちゃオイシカタ。  
こんな日々の積み重ねもあり、悲喜こもごも我ら七組は、二人になった今も元気いっぱいである。

# 学級スナック

本学級は、本年度より開設された。男女一名ずつ、計二名、二人とも一年生である。

二期に入ってから、二組での交流の時間が増え、楽しく学習などに参加させてもらっている。

二組の子たちに支えられて「健しさ」「思いやり」「助け合う」ことなどにふれ、本人たちもそれを二組の子たちにしてあげられるようになった。

二組の子とふれ合う中で、多くのことを学んでいる。子供同士のふれ合いが、お互いを大きく成長させているようだ。



北野小 1年4組 2組の子といっしょに

# 笑顔に支えられて

## 加藤 敬子

### 振り袖とスーツ姿

二人の教え子の美しく、凛々しい晴れ姿を目にすることができた成人式。傍で見守るお母さんたちの表情も美しく明るかった。私もその場に居合わせることのできた喜びを感じ幸せだった。

振り袖とスーツ姿の中に入り、写真を撮ってもらいながら、昔、あるお母さんが話されたことを思い出した。

「この子の母親であつてよかったです」と思っているんですよ。もしも、この子がいなかったら、私のことです。どんなに愚かな母親になつていたことでしょうか。」

当時、若かった私は、「このお母さんの子供は幸せだな。こういうお母さんたちとなら頑張っていける。」と感動した。それから二十余年、特殊学級担任として、教師生活を過ごしてきた。子供たち

の笑顔に助けられながらの毎日だった。

### 出会った笑顔

車椅子にすわつたまま、他の子が楽しく動き回る姿を優しい笑顔で見つめていた今は亡きA君。私が教師を長く続けてこられたことの一つに、彼の笑顔があつた。

また、私が元気がないと、そつと傍に寄つて来て、「元気を出してよ。」とでも言うように微笑みかけてくれたB君やC子さん。私が、教師として頑張つてこれたのは、彼らの笑顔のおかげであつた。

そして、教室のワックスがけを私と二人でした後、美味しそうにジュースを飲んでいたら元気がつばいのD子さん。

「何で、俺ばっかりが作らなあかんのだ。」と言いながらも、笑つて学芸会の小道具作りに勤んでくれた手先の器用なE君。私に力が湧いてくるのは、彼らの笑顔と一緒にの時だった。

もちろん、お母さんたちや一緒に働いてきた人たちの思いやりにあふれていた。あなたに会えてよかった。」



ある明るい元気な笑顔が私や子供たちを支えてくれた。出会つたたくさんの笑顔は、今、私の財産となつた。

### 「先生」と呼ばれて思うこと

教師を辞めて一年が経つた。今でも、教え子たちに会うと、彼らは私のことを「先生」と呼ぶ。私は、教師であることは辞めたけれど、彼らより先に生まれてきたという意味でなら、

「先生」である。これから私は、そんな意味での「先生」として、彼らに恥じない生き方をしたい。また具体的方向は決まっていない。けれど、何をやるにしても、A君のように他人の喜びに笑顔でエールをおくれる人間でいたい。そのためにも、特殊教育の先輩から教わつた「根気・元気・呑気」をモットーにしていきたい。只今現任、私は基礎中の基礎であるところの体力づくりに取り組んでいる。

最後になりましたが、感謝の気持ちを込めて言わせて下さい。「あなたに会えてよかった。」

### 卒業

岡崎小 富増 祐也

学芸会では、みんなといっしょに舞台の上に立って、兵士の役ができてとても楽しかったです。修学旅行で、しかにはくが作つたサツマイモをやりました。しかがおじぎをしてくれました。楽しい思い出がたくさんできました。

### 感謝

富増 良子



楽しかった部活動 城北中 松田 恵資  
僕は、三年間部活をがんばりました。部活は理科部です。二年生のときに、化石採集に行つたことや、文化祭で、企画実験をしたことが楽しかったです。また高校へ行つたら、先輩たちといっしょに勉強できるので、うれいす。

大切な宝物 松田 暁美

あつという間の六年間でしたが、たくさんの友達と、先生方のやさしさに支えられて、祐也ものびと過すことができました。感謝の気持ちでいっぱいです。地域の方にもお世話になりました。本当にありがとうございます。いろいろなことにチャレンジしてほしいと思います。

### 表彰

- ・第二十二回愛知県特殊教育振興大会 特殊教育推進連盟表彰 南中三年 後藤 真由
- ・第五十回全国小中学校・PTA新聞コンクール 学級新聞の部 奨励賞 美川中 六組
- ・第二十四回東海日日新聞社学級新聞コンクール 印刷新聞の部 金賞 豊橋市教育長賞 美川中 六組
- ・第三十六回読書感想画コンクール 岡崎市教育委員会賞 矢作東小四年 佐藤 祐介